

前期 2011年(平成23)3月12日(土)～6月26日(日)

後期 2011年(平成23)7月2日(土)～9月25日(日) 前期・後期で一部展示替えます

1 手児奈文学賞でたどる市川

【大賞作品色紙】

神馬せつを「そよ風が帯のようだという妻は…」(第一回短歌)

吉田明「弘法寺の一山響む青嵐」(第一回俳句)

筑間武男「弘法寺の鐘がことほぐ今日の無事」(第一回川柳)

増田啓子「うろこ雲手児奈も見しと思ふ間に…」(第二回短歌)

荒井千佐代「黒松の鱗の反りや雁渡し」(第二回俳句)

春日美恵子「手児奈娘の心の深さはかる海」(第二回川柳)

石井久美子「江戸川の流れ奏でるユリカモメ…」(第三回短歌)

矢沼冬星「兵の日の蝉鳴いてをり国府台」(第三回俳句)

祥まゆ美「やぶしらずトロの森へ行けるかな」(第三回川柳)

岡本邦夫「わが抱く孫の瞳に瑠璃色の…」(第四回短歌)

遠藤真砂明「鱒刺やさざなみ晴に三番瀬」(第四回俳句)

山本桂馬「万葉の闇を真間の井見せてくれ」(第四回川柳)

山口光代「みどりの小人ひそみあるがに…」(第五回短歌)

千田敬「月今宵砂嘴の伸びゆく三番瀬」(第五回俳句)

吉村金一「弘法寺に身の奥ゆるする灯が入り」(第五回川柳)

岩田かほる「どこよいかレモンバームの…」(第六回短歌)

柴崎英子「相輪に月満ち来たり薪能」(第六回俳句)

竹の内一人「武士の檄が呻吟ふ国府台」(第六回川柳)

関口真砂子「真間の里のはるかな風に…」(第七回短歌)

佐々木よし子「初日さす砂嘴の名残の磯馴松」(第七回俳句)

山下寛治「歳を経て伏姫桜杖をつく」(第七回川柳)

内田令子「紫の煙ひとすぢ燻らせば…」(第八回短歌)

柴田歌子「雲の峰魁夷の描道を行く」(第八回俳句)

小田中準一「辻切りと聞いて武蔵の早とちり」(第八回川柳)

福永繁雄「植木屋の鉄の音冴え黒松の…」(第九回短歌)

増島淳隆「風入れや立正安国論に触れ」(第九回俳句)

原光生「カツ井でしばし荷風の顔になる」(第九回川柳)

吉村紀子「十年経て身籠りたりと知らせ来る…」(第十回短歌)

松嶋雄昭「建国の日さざれ石ただ黙す」(第十回俳句)

祥まゆ美「かたつむり我呼びとめる夜泣き石」(第十回川柳)

2 市川の歌人たち

北原白秋

北原白秋が紫烟草舎で使用した机、花瓶 市川市川歴史博物館蔵

短冊「葛飾のふくら雀のこゑきけば涙こぼるる飯をたべたべ」亀井院蔵

色紙「秋はほのかにねざめしてあはれと思ふ…」(複製)

歌碑拓本「華やかにさびしき秋や千町田のほなみがすゑを群雀立つ」

1970年(昭和45)建立 市川博物館友の会拓本部会提供

『白秋小品』1916年(大正5)阿蘭陀書店

『雀の生活』1920年(大正9)新潮社

『雀の卵』1921年(大正10)アルス

『二重虹』1926年(大正15)アルス

『東京景物詩』1913年(大正2)東雲堂書店版の復刻

1985年(昭和60)ほるぷ

『おもひで』1911年(明治44)東雲堂書店の復刻

1974年(昭和49)日本近代文学館

『トンボの眼玉』1919年(大正8)アルスの復刻

1978年(昭和53)ほるぷ出版

『詩集邪宗門』1909年(明治42)易風社の復刻

1974年(昭和49)日本近代文学館

『赤い鳥』1918年(大正7)～1936年(昭和11)赤い鳥社の復刻

1981年(昭和56)日本近代文学館

『短歌研究』1942年(昭和17)12月号 改造社 北原白秋追悼特集

江口章子

『追分の心』1995年(平成7)短歌研究社

吉植庄亮

色紙「雪ふれる国のはたてのゆふ空のいささあかねも

昏れ入らんとす」

小林一氏提供

吉植庄亮より畑耕一へ宛てた絵葉書(複製)1922年(大正11)

『寂光』1921年(大正10)短歌研究会

『歌集 くさはら』1928年(昭和3)橄欖社

3 市川の川柳作家たち

『百姓記』1946年(昭和21)大日本雄弁会講談社 小林一氏提供

吉井勇

『天彦』1939年(昭和14)甲島書林

『形影抄』1956年(昭和31)甲島書林

神作光一

墨書「夕焼けの移ろひまでも映しつやがて暮れゆく大きな池」
神作光一氏寄贈

高野公彦

色紙「弘法寺の桜ちるなか吊鐘は音をたくはへしんかんとあり」
高野公彦氏寄贈

『水木』1984年(昭和59)短歌新聞社

『水苑』2000年(平成12)砂子屋書房

『渾円球』2003年(平成15)雁書館

大島史洋

色紙「卒塔婆鳴る夜の境内を吾は知る真間山弘法寺に
ジャズは響きて」 大島史洋氏寄贈

『炎樹』1981年(昭和56)蒼土舎 大島史洋氏寄贈

『幽明』1998年(平成10)砂子屋書房 大島史洋氏寄贈

日高堯子

色紙「かつしかの真間の冬浦六、七羽の鷗がしろし海より来たり」
日高堯子氏寄贈

『睡蓮記』2008年(平成20)短歌研究社 日高堯子氏寄贈

松本千代二

『駱駝の瘤』1962年(昭和37)短歌研究社

『ゆうらしあ』1969年(昭和44)短歌新聞社

西川日恵

色紙「白秋の真間の小川と詠ひしは涙川ならむ螢の飛びき」
西川日恵氏寄贈

色紙「真間の井の溢れ流るる涙川崖崩れにて今し影なく」
西川日恵氏寄贈

『飛鳥の里芸術大賞 西川日恵殿 盾』西川日恵氏蔵

『風のごと』2007年(平成19)新風舎 西川日恵氏寄贈

『美術の杜 Vol.23』2010年(平成22)美術の杜社

阪井久良伎

軸「五月鯉夢は大きな程がよし」 吉田憲司氏寄贈

軸「寿 戌寅三月 川柳久良伎集印」1938年(昭和13)
吉田憲司氏寄贈

「川柳緋易帖」1937年(昭和12) 吉田憲司氏寄贈

「己卯 久良伎帖」1939年(昭和14) 吉田憲司氏寄贈

短冊「釣竿の先の教へる鴻の台」 吉田憲司氏寄贈

短冊「手児奈の宮の酢にかへる御酒」 吉田憲司氏寄贈

『川柳久良伎全集』全6巻 1936(昭和11)～1937(昭和12)
同刊行会

『改造』秋季特輯号 1933年(昭和8)改造社
阪井「川柳名句解」掲載

吉田機司

短冊「新婚も心中もいる熱海の灯」 吉田憲司氏寄贈

短冊「祝銀婚式「老いらくが流行り見直す恋女房」 吉田憲司氏寄贈

短冊「市川のむかしは紅葉いま馬券」 吉田憲司氏寄贈

「人世詩・川柳」自筆原稿 吉田憲司氏寄贈

「俳句と川柳」自筆原稿 吉田憲司氏寄贈

草野心平「哀悼吉田機司君」自筆原稿（『白玉楼』掲載）
1965年(昭和40) 吉田憲司氏寄贈

杉浦非水「白玉楼」装丁図版 1965年(昭和40) 吉田憲司氏寄贈

軸 伊東弥恵治(東果甫)「祝 吉田博士」1936年(昭和11)
吉田憲司氏寄贈

色紙 吉田多輝子「春の花咲きかつ終わりぬひと月余
祖国はなれし間のうつろひに」 吉田憲司氏寄贈

写真「投網をする吉田機司」撮影年不明 吉田憲司氏寄贈

写真「病院前での吉田機司」昭和10年頃 吉田憲司氏提供

写真「市川真間の病院で執務する吉田機司」撮影年不明
吉田憲司氏提供

『いろは句へど』1957年(昭和32)新潮社 吉田憲司氏寄贈

『続 いろは句へど』1966年(昭和41)私家版 吉田憲司氏寄贈

吉田機司他『川柳の味ひ方と作り方』1947年(昭和22)川柳祭社
吉田憲司氏寄贈

吉田機司編『現代川柳』1955年(昭和30)緑地社 吉田憲司氏寄贈

『川柳新潮』第10号 吉田機司追悼号 1965年(昭和40)川柳新潮社
吉田憲司氏寄贈

松沢敏行

軸 松沢敏行 吉田機司詠吟集より「新婚も心中もいる熱海の灯
乙己春 敏行謹書」 吉田憲司氏寄贈

4 市川の俳人たち

阿部篤人

色紙「考へる事がひとりの凍て拳」太田律子氏寄贈

短冊「春めくと太平洋の湧動む」太田律子氏寄贈

短冊「旱天の煙一条消え行けり」太田律子氏寄贈

「季語集」自筆原稿 太田律子氏寄贈

色紙 金田一京助「啄木 歌はしりかなしき玩具と読みすてゝいのちを
かけたたかひあはれ 京助」太田律子氏蔵

句碑建立資料(案内 リーフレット 記念品 新聞記事)太田律子氏寄贈

『戦前・戦後』1957年(昭和32) 好日俳句会 太田律子氏寄贈

『俳句 - 四号目からの出発 - 』1967年(昭和42)文一出版
太田律子氏寄贈

『好日』NO.186, 200, 201 1956年(昭和31)好日俳句会
太田律子氏寄贈

能村登四郎

色紙「火を焚くや枯野の沖を誰か過く」能村研三氏提供

『咀嚼音』1954年(昭和29)近藤書店 能村研三氏提供

『定本 枯野の沖』1976年(昭和51)牧羊社 能村研三氏提供

『沖』創刊号 1970年(昭和45)10月号 沖発行所 能村研三氏提供

林翔

色紙「光年のなかの瞬の身初日燃ゆ」林みよ子氏提供

『和紙』1970年(昭和40) 竹頭社

『光年』2004年(平成16) ふらんす堂 能村研三氏提供

伊藤白潮

色紙「不退転とは青山の石のこと」伊藤卓氏寄贈

『余白』創刊号 1968年(昭和43)伊藤白潮 伊藤白潮蔵書

『在家』1982年(昭和57)草韻新社 伊藤白潮蔵書

『游』1984年(平成5) 角川書店 伊藤白潮蔵書

関口火竿

色紙「沈丁の闇よりまとひ来し狐愁」岩本紀子氏寄贈

黒田杏子

色紙「柚子湯してあしたのあしたおもふかな」黒田杏子氏寄贈

池田啓三

色紙「辻切の蛇を巻きつけ桜散る」池田啓三氏寄贈

5 市川の詩人たち

草野心平

『天』1951年(昭和26)新潮社

『詩集 こわれたオルガン』1968年(昭和43年)昭森社

福田律郎

散文詩集『終と始』1957年(昭和32)現論社

『細胞の指』1966年(昭和41)詩人会議

『純粹詩』1946年(昭和21)10月号 純粹詩社

鳴海英吉

鳴海英吉全詩集編集委員会編『鳴海英吉全詩集』
2002年(平成14)本多企画

『定本ナホトカ集結地にて』1980年(昭和55)青磁社

ほしのいたる

色紙「しらさぎ」ほしのいたる氏寄贈

小紋章子

色紙「水引 市川在住時の庭の水引を描く」小紋章子氏寄贈

6 市川の文人と詩歌

永井荷風

色紙「めさめては翁に似たるあこの髭角も羊はまるくをさめて」

1931年(昭和6) 永井永光氏提供

パネル「断腸亭日乗 昭和21年4月22日」条 原資料永井永光氏提供

パネル「手帖 昭和24年12月暮」条 原資料永井永光氏提供

『葛飾土産』1950年(昭和25)中央公論社

谷崎潤一郎『都わすれの記』1948年(昭和23)創元社 永井永光氏提供

幸田露伴

『評釈芭蕉七部集』1944年(昭和19)～1951年(昭和26)岩波書店

郭沫若

詩碑拓本「別須和田」1967年(昭和42)建立

市川博物館友の会拓本部会

7 井上ひさしのつづいた石川啄木と短歌

- 『泣き虫なまいき石川啄木』台本 1986年(昭和61)6月 こまつ座
- 『the 座 第7号』1986年(昭和61)6月 こまつ座
- 『泣き虫なまいき石川啄木』関連新聞記事(複製)
- 石川啄木『啄木全集』第一～五巻 1953年(昭和28)9～12月 岩波書店
- 久保田正文『石川啄木詩歌集』1968年(昭和43)1月 金園社
- 久保田正文『新編 啄木歌集』1993年(平成5)5月 岩波書店
- 『石川啄木詩集 あこがれ』1999年(平成11)1月 角川書店
- 吉田孤羊『啄木寫真帖』1952年(昭和27)8月 乾元社
- 『太陽』211 1980年(昭和55)8月 乾元社
- 近藤典彦『国家を撃つ者』1989年(平成元)5月 同時代社
- 高井有一他『群像日本の作家7 石川啄木』1991年(平成3)9月
小学館
- 『近代文学鑑賞講座 第八巻 石川啄木』1960年(昭和35)4月
岩波書店

以上の資料は、山形県川西町遅筆堂文庫所蔵

- 『泣き虫なまいき石川啄木』チラシ 1986年(昭和61)6月
こまつ座第七回公演 こまつ座提供
- 『泣き虫なまいき石川啄木』台本 2001年(平成13)3月 こまつ座
市川市文化振興財団提供
- 『the 座 第45号』2001年(平成13)3月 こまつ座
市川市文化振興財団提供
- 『泣き虫なまいき石川啄木』1986年(昭和61)新潮社
- 『にっぽん博物誌』1983年(昭和58)朝日新聞社
- 『吉里吉里人』1981年(昭和56)新潮社

8 宗左近コレクション

額「星月夜沈黙の舒鳴り渡る」

- 『桜』講演自筆構想メモ 2002年(平成14)3月30日 於 弘法寺
- 宗左近『詩歌句』創刊シンポジウム関係資料(自筆構想メモ
リーフレット、新聞記事) 2004年(平成16)7月31日
- 『芸術家まんだら』1975年(昭和50)読売新聞社
- 『悲しみさえも星となる』1994年(平成6)東京四季出版
- 『柳河版 白秋小唄集』1969年(昭和44)北原白秋生家保存会
- 『柳河版 思い出』1979年(昭和45)御花
- 『北原白秋 日本近代文学大系28』1979年(昭和45)角川書店
- 『北原白秋 日本詩人全集7』1967年(昭和42)新潮社

- 宗左近編『草野心平詩集』1978年(昭和53)旺文社
- 『草野心平全集』全16巻 1978年(昭和53)～1984年 筑摩書房
- 『草野心平日記』全7巻 2004年(平成16)～2006年 思潮社
- 草野心平『わが賢治』1970年(昭和45)二玄社
- 『歷程』1957年(昭和32)2月号 緑書房
- 神作光一『歌集 未来都市』2002年(平成14)短歌新聞社
- 神作光一『歌集 秋の信濃路』2002年(平成14)短歌新聞社
- 神作光一『風に鳴る絵馬』2002年(平成14)短歌新聞社
- 大島史洋『定型の力』1993年(平成5)砂子屋書房
- その他北原白秋関連蔵書
- その他草野心平関連蔵書
- その他短歌関連蔵書

以上の資料は、文学プラザ宗左近コレクション所蔵

9 小島貞二コレクション

- 小島貞二『千葉笑い』1988年(昭和63)恒文社
- 有遊会『感字在菩薩笑事典』2003年(平成15)永林寺
- 久保田万太郎『流寓抄以後』1963年(昭和38)文藝春秋社
- 中川道弘『川柳 古書まみれ』1993年(平成5)古書上野文庫
- 北原白秋『添削実例 鑛』1946年(昭和21)アルス
- 吉井勇『定本 吉井勇歌集』1943年(昭和18)養徳社
- 『川柳しなの』1954～55年(昭和29～30)しなの川柳社
- 『現代どどいつ』1982～84年(昭和57～59)中道風迅堂

以上の資料は、文学プラザ小島貞二コレクション所蔵

展示点数	合計	約340点
市川の文人関連		約190点
井上ひさし関連		約50点
水木洋子関連		約70点
手児奈文学賞関連		約30点
水木資料の詳細は、別に「水木洋子と詩歌出品目録」あり		
その他 閲覧用図書・ファイル多数		

市川市文学プラザ

272-0015 市川市鬼高1-1-4
市川市生涯学習センター3階
Tel 047-320-3354 Fax 047-320-3352